

シックハウスに係る添付表

記載内容が同等であれば、独自の様式を使用しても構いません。

床面積×平均天井高

表 1 (居室毎の機械換気設備)【記載例】 ※第 3 種換気の場合 (天井高は 1,2F 共 2.4m、階高 3.0m)

階	室名	床面積 (㎡)	平均天井高 (h)	気積 (3)	換気種別	給気機による給気量 (3/h)	排気機による排気量 (3/h)	換気回数 n(回/h)	メーカー及び型番 (機種が決定している場合)							
									換気扇	屋外フード						
1	LDK	32.00	2.40	76.80	給気口及び排気機 (第 3 種)	自然給気の場合は、記入不要です。										
	和室	14.00	2.40	33.60												
	広縁	4.00	2.40	9.60												
	玄関	3.00	5.60*	16.80												
	廊下	8.00	2.40	19.20												
	階段	5.00	3.90*	19.50												
	洗面所	4.00	2.40	9.60												
トイレ	2.00	2.40	4.80													
2	洋室(1)	16.00	2.40	38.40												
	洋室(2)	15.00	2.40	36.00												
	廊下	8.00	2.40	19.20												
	トイレ	2.00	2.40	4.80												
合計			293.10									160.00	0.54			

※玄関天井高=0.20(叩き)+3.0(階高)+2.40(2F 天井高)=5.60m  
階段天井高=3.0(階高)÷2+2.40(2F 天井高)=3.90m

屋外フード、ダクト等による圧力損失を考慮した数値でなければなりません。

160 ÷ 293.10

表 2 (天井裏等への措置)【記載例】

階	室名	1							2			
		LDK	和室	広縁	玄関	廊下	階段	洗面所	トイレ	洋室 1	洋室 2	廊下
天井裏等												
2F 小屋裏		換気経路とならない収納スペース等の内部仕上げはこの欄に記入して下さい。							第 3 種			
2F 間仕切壁									通気止め			
1F 天井裏 (2F 床裏)									第 3 種			
1F 間仕切壁									通気止め			
1F 床裏									第 3 種			
外壁									第 3 種			
システムキッチン内部		第 3 種										
造り付戸棚内部		第 3 種										
クローゼット等収納内部			第 3 種					第 3 種		第 3 種	第 3 種	
下駄箱内部					第 3 種							第 3 種
納戸内部												
小屋裏収納内部												第 3 種
洗面化粧台内部								第 3 種				第 3 種

上記は、1 階及び 2 階の各室に給気口を設け、1 階トイレ、洗面所、階段及び 2 階のトイレに排気機を設けて、建築物全体の換気を一体的に計画した場合の記入例です。また、1 階及び 2 階の間仕切壁には通気止めを設けて居室等と区画し、その他の天井裏等は第 3 種材料を使用することを想定しています。  
この事例とは異なり、建築物を独立した複数のエリア毎に換気する計画の場合には、表 1 から表 3 は、それぞれのエリア毎に分けて気積、換気種別、給気量、排気量、天井裏等の措置、換気回数、使用建築材料、使用面積合計を記入して下さい。

クロルピリホスの使用 無 有 (建築材料に使用されて 5 年以上経過)

どちらかにチェックして下さい。

表 3 (使用建築材料表) 【記載例】

この表には、実際に使用する建築材料を記入して下さい。

表 3-1

記号	建築材料	種 別
a	複合フローリング	F☆☆☆
b	構造用合板	F☆☆☆
c	普通合板	F☆☆☆
d	木製階段	F☆☆☆☆
e	じゅうらく塗り	F☆☆☆
f	開き戸	F☆☆☆
g	引戸	F☆☆☆
h	玄関収納	F☆☆☆
i	引違戸	F☆☆☆
j	収納扉	F☆☆☆
k	据置収納	F☆☆☆

記号	建築材料	種 別
l	天井材 (天然木化粧合板)	F☆☆☆☆
m	ふすま、障子	F☆☆☆☆
n	押入棚板	F☆☆☆
o	床の間	F☆☆☆☆
p	キッチン	F☆☆☆☆
q	洗面化粧台	F☆☆☆☆
r	下駄箱	F☆☆☆
s	壁紙施工用でんぷん系接着剤	F☆☆☆☆
t	ビニルクロス	F☆☆☆☆
u	集成材	F☆☆☆

表 3-2

階	室名 (床面積)	内装の仕上げの部分	種 別	表 3-1 の記号	面積(A) ㎡	係数 (B)	使用面積 (C=A×B)㎡	使用面積合計 Y=ΣC (判定結果)
1	LDK (32.00 ㎡)	床	F☆☆☆	a	32.00	0.5	16.00	71.60 ㎡ (OK)
		壁	F☆☆☆☆	s, t				
		天井	F☆☆☆☆	t				
		引戸 (廊下)	F☆☆☆	g	2.00	0.5	1.00	
		引違戸 (和室)	F☆☆☆	i	3.60	0.5	1.80	
		システムキッチン	(規制対象外)	p				
		カウンター	F☆☆☆	u	3.00	0.5	1.50	
	和室 (12.00 ㎡)	造り付戸棚	F☆☆☆	k	1.20	0.5	0.60	
		床	(規制対象外)					
		壁	F☆☆☆☆	s, t				
		天井	F☆☆☆☆	s, t				
		開き戸 (廊下) ※	F☆☆☆	f	2.00	0.5	1.00	
		引違戸 (LDK)	F☆☆☆	i	3.60	0.5	1.80	
		引違戸 (押入)	F☆☆☆☆	m				
	広縁 (4.00 ㎡)	引違戸 (広縁)	F☆☆☆☆	m				
		床の間	F☆☆☆☆	o				
		床	F☆☆☆	a	4.00	0.5	2.00	
	玄関 (3.00 ㎡)	壁	F☆☆☆☆	s, t				
		天井	F☆☆☆☆	s, t				
		引違戸 (和室)	F☆☆☆☆	m				
		床	(規制対象外)					
	廊下 (8.00 ㎡)	壁	F☆☆☆☆	s, t				
		天井	F☆☆☆☆	s, t				
		下駄箱	F☆☆☆	r	3.00	0.5	1.50	
		床	F☆☆☆	a	8.00	0.5	4.00	
		壁	F☆☆☆☆	s, t				
		天井	F☆☆☆☆	s, t				
		開き戸 (和室) ※	F☆☆☆	f	2.00	0.5	1.00	
		開き戸 (階段下収納)	F☆☆☆	f	2.00	0.5	1.00	
	階段 (5.00 ㎡)	開き戸 (トイレ)	F☆☆☆	f	2.00	0.5	1.00	
		引戸 (洗面所)	F☆☆☆	g	1.00	0.5	0.50	
		引戸 (LDK)	F☆☆☆	g	1.00	0.5	0.50	
		壁	F☆☆☆☆	s, t				
洗面所 (4.00 ㎡)	天井	F☆☆☆☆	s, t					
	踏み板	F☆☆☆☆	d					
	蹴込板	F☆☆☆☆	d					
	床	F☆☆☆	a	4.00	0.5	2.00		
	壁	F☆☆☆☆	s, t					
トイレ (2.00 ㎡)	天井	F☆☆☆☆	s, t					
	引戸	F☆☆☆	g	1.00	0.5	0.50		
	洗面化粧台	F☆☆☆☆	q					
	床	F☆☆☆	a	2.00	0.5	1.00		
	壁	F☆☆☆☆	s, t					
2	洋室 1 (16.00 ㎡)	天井	F☆☆☆☆	s, t				
		開き戸	F☆☆☆	f	2.00	0.5	1.00	
		収納扉	F☆☆☆	j	6.00	0.5	3.00	
		床	F☆☆☆	a	15.00	0.5	7.50	
	洋室 2 (15.00 ㎡)	壁	F☆☆☆☆	s, t				
		天井	F☆☆☆☆	s, t				
		開き戸	F☆☆☆	f	2.00	0.5	1.00	
		収納扉	F☆☆☆	j	4.00	0.5	2.00	
		床	F☆☆☆	a	8.00	0.5	4.00	
		壁	F☆☆☆☆	s, t				
廊下 (8.00 ㎡)	天井	F☆☆☆☆	s, t					
	開き戸 (洋室 1)	F☆☆☆	f	2.00	0.5	1.00		
	開き戸 (洋室 2)	F☆☆☆	f	2.00	0.5	1.00		
	開き戸 (トイレ)	F☆☆☆	f	2.00	0.5	1.00		
	引戸	F☆☆☆	g	2.00	0.5	1.00		
	洗面化粧台	F☆☆☆☆	q					
	床	F☆☆☆	a	2.00	0.5	1.00		
トイレ (2.00 ㎡)	壁	F☆☆☆☆	s, t					
	天井	F☆☆☆☆	s, t					
	開き戸	F☆☆☆	f	2.00	0.5	1.00		

建具については、左欄の室に面する部分の仕上材を記入して下さい。従って、その建具が天井裏等の空間を仕切るものでない限り、ひとつの建具は2室に記入することになります(室に面する部分)。例えば、和室の廊下に面する開き戸は、和室の欄と廊下の欄それぞれに記入して下さい。

一体の換気計画における各室の床面積の合計(X) 111.00 ㎡

X ≥ Y ならば OK

# シックハウスに係る添付表

表 1 (居室毎の機械換気設備)

階	室名	床面積 (㎡)	平均 天井高 (h)	気積 (3)	換気 種別	給気機に よる給気 量(3/h)	排気機に よる排気 量(3/h)	換気 回数 n(回/h)	メーカー及び型番 (機種が決定している場合)	
									換気扇	屋外フード
合計										

表 2 (天井裏等への措置) 【記載例】

階	室名													
天井裏等														

クロルピリホスの使用 無 有 (建築材料に使用されて5年以上経過)

表 3 (使用建築材料表)

表 3-1

記号	建築材料	種 別
a		
b		
c		
d		
e		
f		
g		
h		
i		
j		
k		

記号	建築材料	種 別
l		
m		
n		
o		
p		
q		
r		
s		
t		
u		

表 3-2

階	室 名 (床面積)	内装の仕上げの部分	種 別	表 3-1 の記号	面積(A) ㎡	係数 (B)	使用面積 (C=A×B)㎡	使用面積合計 Y=ΣC (判定結果)	
2									
一体の換気計画における各室の床面積の合計(X)					㎡	$X \geq Y$ ならば OK			